



## (表A) 医師臨床研修制度の変遷

昭和21年 実地修練制度  
(いわゆる卒後1年間のインターン制度)

昭和43年 臨床研修制度  
(大学医学部卒業直後に医師国家試験を受験し、医師免許取得後も2年以上の臨床研修を行うように努めるものとする 努力規定)

平成16年 新医師臨床研修制度  
(診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修を受けなければならない 必修化)

(表B) 医師臨床研修場所データ

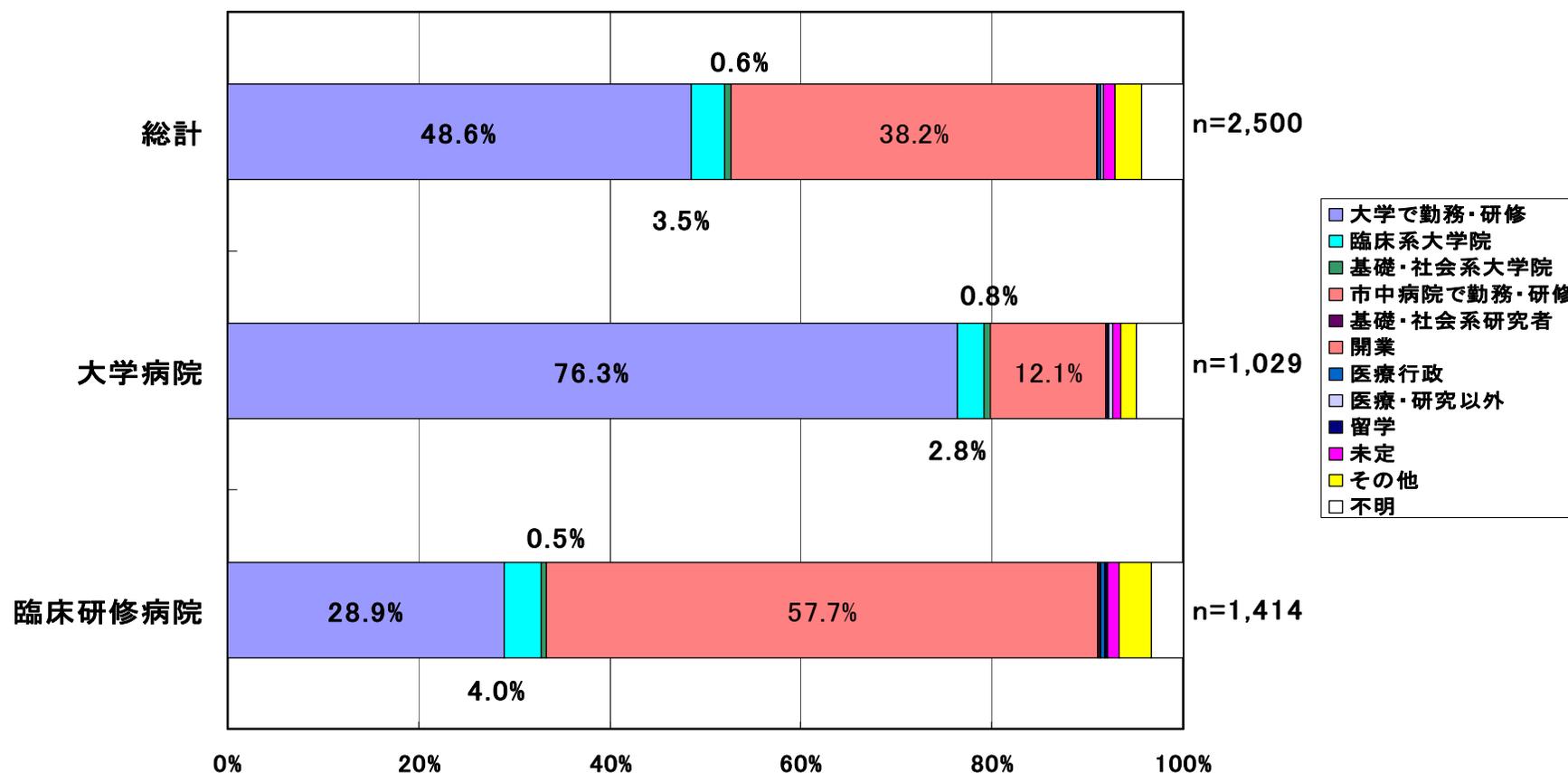


区分	大学病院	臨床研修病院
旧制度 (平成13年度)	71.2%	28.8%
新制度1年目 (平成16年度)	55.9%	44.1%
新制度2年目 (平成17年度)	49.2%	50.8%
新制度3年目 (平成18年度)	44.7%	55.3%
平成19年度 研修予定者	48.8%	51.2%

資料:平成13年度「研修医の処遇に関する調査」(厚労省・文科省)  
平成16～18年度 厚労省医師臨床研修推進室調べ(国試合格発表後)  
平成19年度 研修医マッチングの結果(医師臨床研修マッチング協議会)



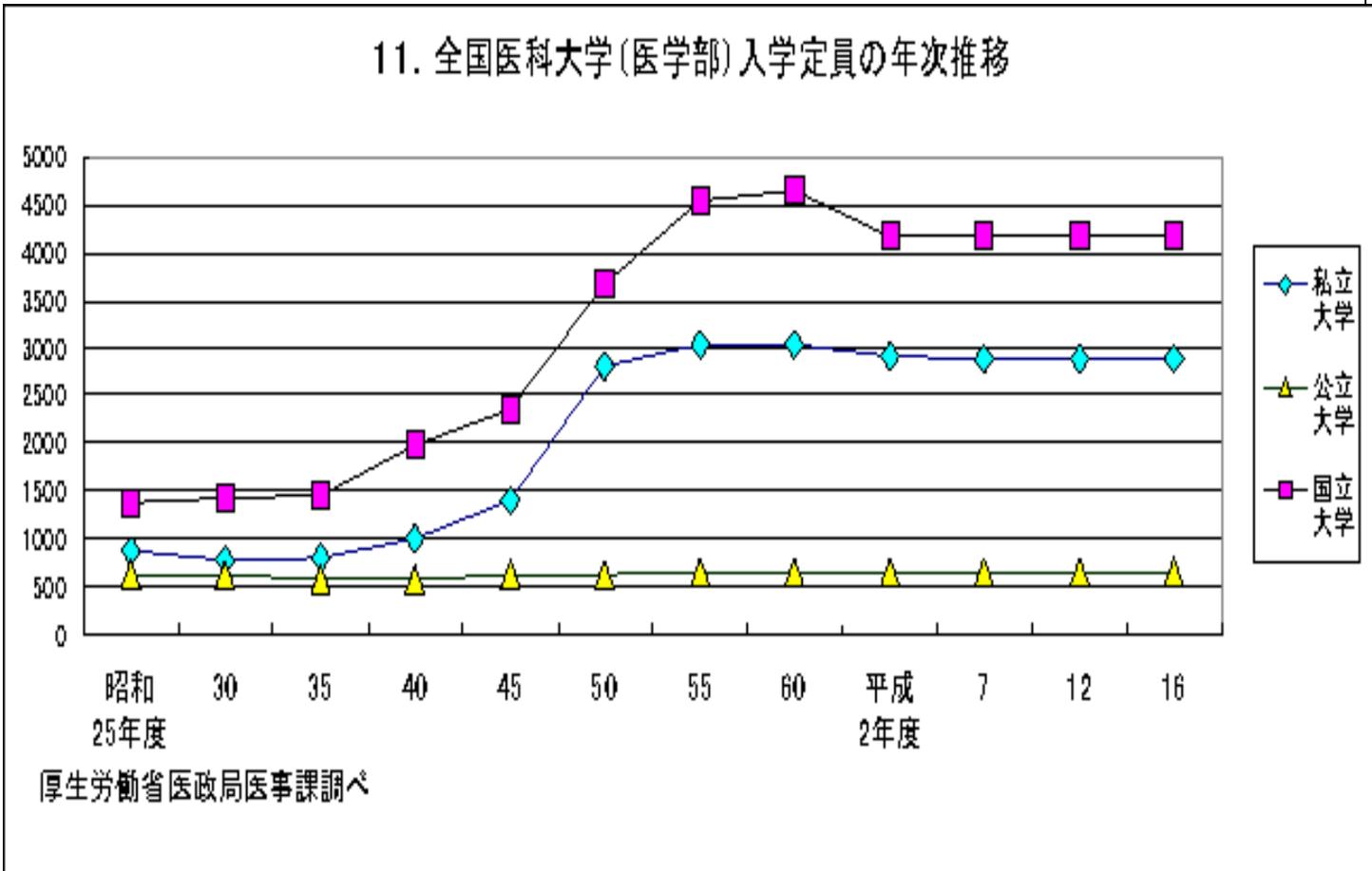
## (表C) 臨床研修終了後の進路



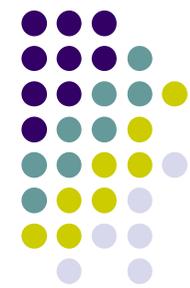
資料：平成17年度「臨床研修に関する調査中間報告」厚生労働省研究班



(表D) 全国医科大学(医学部)入学定員の年次推移

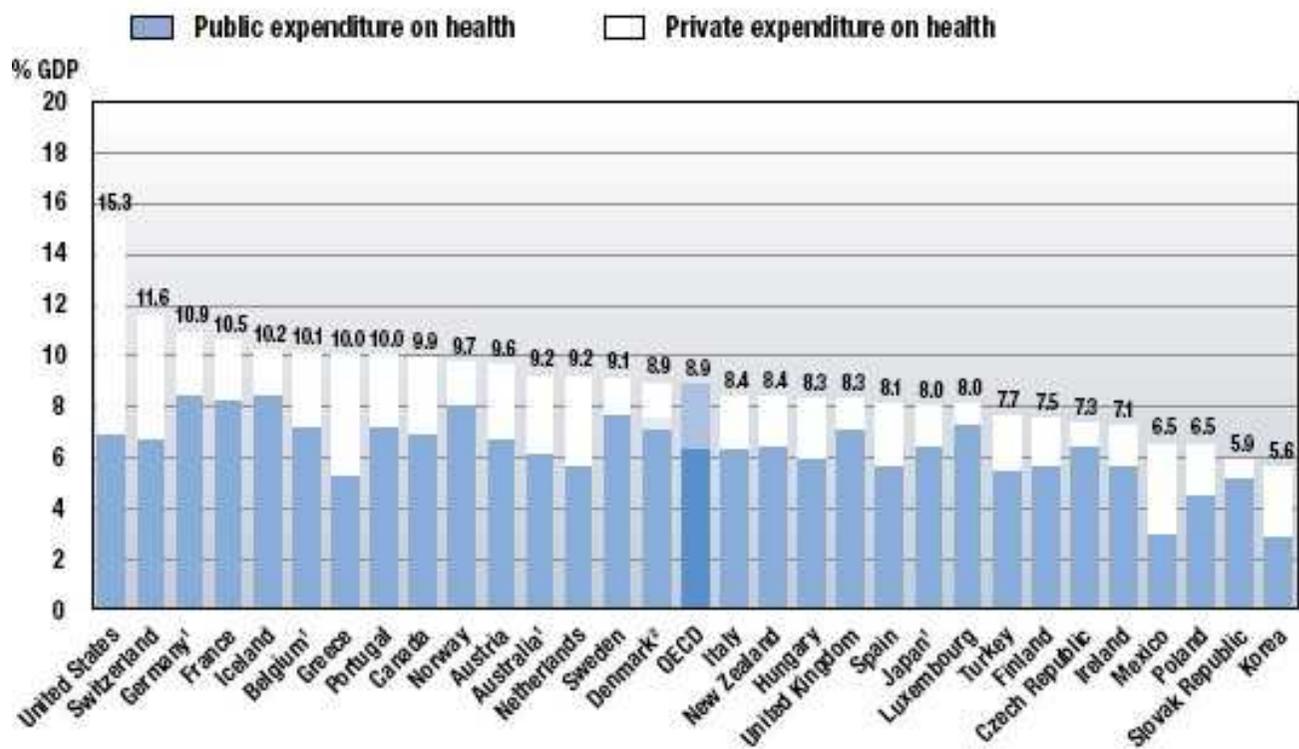


資料：第1回医師の需給に関する資料(全国医科大学(医学部)入学定員の年次推移) 厚生労働省



(表E) 総医療費支出(対GDP比)

Health expenditure, as a share of GDP, public and private expenditure, 2004



資料: OECD Health Data 2006